

## 「うみかぜセミナー：発達障害と歩む」のご案内

滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクトでは、子どもたちの健やかな育ちを応援するため、さまざまなとりくみをおこなっています。発達心理学、栄養学、助産学分野の研究をはじめ、母子支援活動を進めて、子育てに携わっているみなさんと幅広く連携していきたいと考えています。その一環として、このたび、「うみかぜセミナー：発達障害と歩む（全4回）」を開催することになりました。本セミナーでは、主に保育士や教員、臨床発達心理士など子育て支援にかかわる方々を対象に、「保育と発達支援の専門性」を高める研修の場となることをめざしています。

上記専門職以外で関心をお持ちの方々のご来聴も歓迎いたします。

〈セミナー実施日程〉（いずれも会場は滋賀県立大学交流センター研修室、13時30分～15時30分）

- 第1回 2010年 9月25日（土）宮崎信恵監督作品  
「あした天気になる？ 発達障がいのある人たちの生活記録」上映会
- 第2回 2010年11月13日（土）赤木和重氏（三重大学教育学部准教授、10月より神戸大学大学院人間発達環境学研究所 准教授）講演「自閉症教育で大事にしたいこと：『障害特性に応じた教育』再考」
- 第3回 2011年 1月29日（土）木下孝司氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究所 教授）講演「乳幼児期の発達と障害をもつ子どもの保育・療育」
- 第4回 2011年 3月 5日（土）石川憲彦氏（林誠の森クリニック院長）講演「『発達障害』の医療：效用と限界」

第1回は下記の内容でおこないます。

ドキュメンタリー映画上映会

### あした天気になる？ 発達障がいのある人たちの生活記録

宮崎信恵監督作品

#### 内容

知的しょうがいのある人々の人権擁護を基本理念に「行動しょうがい」の軽減のための実践に先進的に取り組んでいる福岡県鞍手町にある入所更生施設「サンガーデン鞍手」を舞台に、そこで暮らす人々と職員の間での日常に密着する中で彼らの生き難さや困難さに寄り添った支援の大切さを訴える映像です。日々を生き活きと生きる人々の生の姿を多くの人に知っていただき、発達しょうがい者への理解を深めることを願って制作されたものです。この人々は決して「異質」な存在ではないこと、その「歩み」はゆっくりでも同じ社会に生きる一人の人間として、他のすべての人たちと同じように明日に向けて一生懸命生きていることを伝えています。

（ドキュメンタリー映画「あした天気になる？」公式サイトより）

©ピース・クリエイト

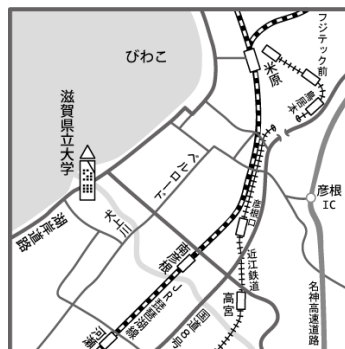


**本企画は、滋賀県「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）協働提案事業」として実施します。**

発達障がいのある人たちの日常を描いた作品をともに視聴することで、人間として大事にしなければならないことは何か、ワーク・ライフ・バランスの根っこにある「社会的な生き物である人間」への理解を深め、「社会で幸せにくらすとはどういうことか」「そのために何を生活において大切にしなければならないか」について、ともに考え合ひましょう。

日時：2010年 9月25日（土）13時30分～15時30分

会場：滋賀県立大学交流センター2階研修室 参加費：無料（事前登録も必要ありません。）



▼ JR南彦根駅からバスで13分/タクシーで8分

▼ JR彦根駅からバスで16分/タクシーで10分

主催：滋賀県立大学人間文化学部・

滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクト

後援：日本臨床発達心理士会関西支部

〈問合せ先〉 滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクト

〒522-8533 彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学人間文化学部 竹下秀子研究室 気付

Tel: 0749-28-8444 Fax: 0749-28-8559

E-mail: usp-umikaze@nifty.com

URL: <http://umikaze.sub.jp/kodomo/home.html>